

J-クレジット制度管理者御中

実績確認概要書

平成 29 年 2 月 24 日

審査機関名 ビューローベリタスジャパン株式会社

1. 排出削減事業計画の概要

排出削減事業名	キュポラから高周波誘導炉への溶解炉の変更による CO2 排出削減事業
プロジェクト番号	KC0103
排出削減事業者名	株式会社イトー鋳造
排出削減共同実施事業者名	カーボンフリーコンサルティング株式会社
事業実施場所	株式会社イトー鋳造 川尻工場 (秋田市川尻町字大川反 170-73)
事業の概要	イトー鋳造川尻工場ではコークスを燃料とするキュポラ溶解炉を利用しており、燃焼時には二酸化炭素を含む排出ガスが多量に発生していた。このキュポラ溶解炉から、高周波誘導炉に変更することにより、CO2 排出量を削減するものである。
排出削減量の計画	2008 年度 1,466 tCO2 2009～2012 年度 1,673 tCO2/年 2013 年度 804 tCO2 2014～2015 年度 869 tCO2/年 2016 年度 107 tCO2 (事業実施期間合計 10,807t-CO2)
クレジット 認証期間	開始日 2008 年 5 月 16 日 終了日 2016 年 5 月 15 日
排出削減方法論	方法論番号 003 工業炉の更新

2. 本実績確認の対象期間

2013年4月1日 ～ 2016年5月15日（第2回目実績報告）

3. 実績確認結果

本実績報告期間における排出削減量は、承認排出削減事業計画に従ってモニタリングされた結果に基づき算定されており適正である。

排出削減量	2,371tCO ₂ （2013年4月1日 ～ 2016年5月15日）
-------	--

4. 実施した実績確認手続きの概要

以下の実績確認手続きにより、報告された排出削減量に重大な誤りがないことを確認している。

要件	実績確認手続き
排出削減量が承認排出削減事業計画に従って当該計画を実施した結果生じていること	1) 開始日の確認（初回実績確認の場合） 第2回目実績確認のため、N/A 2) 対象期間中の設備稼働確認 更新後の高周波誘導炉は実績確認期間中継続的に稼働していることを、高周波炉操業記録により確認した。
排出削減量が承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されていること	排出削減量は、承認排出削減事業計画に従って当該計画を実施した結果生じていることを確認した。 1) モニタリング方法の確認 排出削減実施後の電力使用量については、担当者が、高周波炉操業記録を記録し、電力量管理表に集計するとともに、電力会社から毎月送付される電気料金請求書を保管している。実施後の生産量についても、適切に月次生産実績表に記録、集計していることを上記の書類により確認した。 2) 活動量の正確性 関係者への質問、活動量の実績データの検証、排出削減量算定の検証等により、制度の実施規定及び承認排出削減事業計画通り、正確に集計されていることを確認した。 3) 単位発熱量、排出係数等の係数の確認

	<p>承認排出削減事業計画通りのモニタリング対象指標がリストアップされ、使用されている単位発熱量と排出係数が J-クレジット制度・モニタリング・算定規程（排出削減プロジェクト用）Ver2.6 によるデータであることを確認した。</p> <p>4) 排出削減量算定方法及び算定結果の確認 事業実施後排出量、ベースライン排出量は、方法論及び承認排出削減事業計画に従って適切に計算され、算定結果は正確であることを確認した。</p>
算定期間が移行期間内であること	算定期間は 2016 年 5 月 15 日までであり、プロジェクト終了日である 2016 年 5 月 15 日を超えていない。

5. 承認排出削減事業からの重要な変更点についての評価（該当する場合）

なし

6. 特記事項

本プロジェクトでは、CO₂ 排出削減量は生じているが、省エネになっていないことを確認した。また、前回検証から年平均排出削減量が大幅に減っているが、これは電力の CO₂ 排出係数の変化によるものである。